



港南小学校 学校だより

校長 船木 亮作

7月号

二十四節気・七十二候

<7月の二十四節気>

- ・7月7日 小暑
やや暑熱を催す
- ・7月23日 大暑
蒸暑酷暑を感ず

<7月の七十二候>

- ・半夏生
はんげしょうず
→鳥柄杓が生える
- ・温風至
あつかぜいたる
→暖かい風が吹いてくる
- ・蓮始開
はすはじめてひらく
→蓮の花が咲き始める
- ・鷹乃学習
たかすなわちわざをならう
→鷹の幼鳥が飛ぶことを覚える
- ・桐始結花
きはじめてはなをむすぶ
→桐の実が生り始める
- ・土潤溽暑
つちうるおうてむしあつい
→土が湿って蒸し暑くなる

「聴く」ことから始まるコミュニケーション

三年に及ぶコロナ禍の中、日常生活が大きく変わりました。大人や学生はオンラインを通して仕事や授業、子供もタブレットによる授業などが多くなり、人と人が膝を突き合わせて語り合う場面が本当に少なくなっていました。

「入学したのに学級の保護者の顔が分からない」「クラス替えで保護者の顔が分からない」など学校においても対面によるコミュニケーションが難しくなっていました。今年度に入り、少しずつ対面による活動が緩和され、お互いに顔を合わせる機会が増えてきましたが、これまでそのような機会が少なかったためか「フェイスブック」「LINE」「ツイッター」などSNSを利用して言葉が発することが多くなりました。どれもとても便利なものですが、どれも家族だけでなく不特定多数の人々にメッセージを送ることが出来ます。しかし、そこでは相手の微妙な反応や表情を知ることができません。そのため、知り合い同士でもちよとした言葉の誤解からトラブルに生じることがあります。また、言葉のキャッチボールをしているようで実は相手のことはあまり気にせず、一方的に言葉を投げかけている場合もあります。

アメリカのジャーナリスト、ケイト・マーフィさんは

「LISTEN」という著書の中で現在のSNSの状況に疑問を投げかけています。「今の時代、数百万人もの人に同時にメッセージが送れます。しかし、どのくらいの頻度でその誰かの一人と直接会って話をじっくりと掘り下げる時間をもったり、もつ努力をしたりしてきたでしょうか。勿論、直接会って話すことを「話をじっくり掘り下げる」ことは、イコールではありません。例えば私たちは誰かと話すとき「自分の思いをうまく伝えられたらうか」ということに意識が向けられがちです。しかし、本来コミュニケーションは自分のメッセージを相手に伝えるだけでなく、相手のメッセージを受けとること、すなわち「きく」ことによって成立します。「きく」には「聞く」や「聴く」の漢字が使われますが特に相手を受け入れて積極的に「きく」は「聴く」を使います。そう考えると、コミュニケーションには「発信」「表現」だけでなく「聴く」がセットになって初めて成立するのだと思います。マーフィさんは「私たちは聴くことでしか、人として関わり、理解し、つながりあい、共感し、成長することができません。『聴く』ことは、人間関係がうまくいくための土台をともなうものです」と述べています。ところが議論の場においてお構いなしに

自分の言いたいことだけを言ったり、人の話を遮ったりする傾向はSNSの普及により、さらに強くなっている気がします。SNSでは自分の話す順番まで待つ必要がなく、自分にとって不快な意見に耳を傾ける必要があります。

学校でもこの傾向は強く、近年発信力（自己表現力）の能力の向上に努めている傾向が見られます。「聴く」とよりも「話す」に気持ちが傾いているのかもしれない。しかし、物事を学び、成長するためには、「聴くこと」それも自分と異なる意見に真摯に聴く態度は欠かせません。

意見が同じ人とだけ話して「そうそう」などと納得し合うコミュニケーションも一つにはあるかもしれませんが、それでは、自己確認や自己満足に終わってしまいます。マーフィさんは著書の中に、反対意見に耳を傾けることこそが人が成長していく上で大切だと述べています。

「自分の考えを修正したり、古いものの見方や考え方を投げ捨てたりするのは難しいことですが、相手の考えを聴き「再構築」することこそが、学習となっていく」と、ですから、真のコミュニケーションはお互いの話に耳を傾け、自分と異なる考えがあることを知り、それを認め合うことから始まるのではないのでしょうか。違いを違いとして受け容れたうえで、自分自身も成長していくのだと思います。

本校では今年度「協働する力の育成」を通して、子供たちの豊かな心を育てていこうと考えています。その際も、相手の考えを受け入れたら、一緒に行ったりすること、お互いを高めたいと考えるています。その一つに「聴く」ということを勿論含まれています。ぜひ、大人から「聴く」ということを実践していき子供たちのコミュニケーション力を高めていきたいと思います。

七月二十一日から四十二日間の夏休みに入ります。学校では、補習授業、水泳指導、夏休み港南クラブを三年ぶりに復活させます。講座数自体は多く実施することはできませんが、少しずつ元の様子に近づけていきたいと考えています。ぜひ、保護者の皆様には色々な体験に参加するよう子供たちの背中を押していただければと思います。

心理的安全性

生活指導の目標は三つです。

「挨拶」「返事」「後始末」です。

先月号では、「よい返事と豊かな心」と題した記事を書きました。

返事は、相手を認める、最も身近な行為の一つと言えるでしょう。心理的安全性を保障する雰囲気作りには「返事」は必要不可欠です。

「ながら返事」「生返事」「目を見ない返事」は、よくない返事の代表例です。

先日、校内研究で、体育科の授業がありました。「なかよく」「かしこく」を合言葉に、交流する楽しさを前面に打ち出した実践でした。

講師の先生から「心理的安全性」を保障する授業であったこと、そのことが協働的な学びにつながったというご講評をいただきました。

「返事」「心理的安全性」「協働的な学び」がキーワードとして浮かび上がってきました。

ご家庭や地域におかれましても、子供たちの返事について、気にかけていただければと思います。

(生活指導主幹 小清水 孝)



東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500



港南小学校 Twitter



8月の主な行事予定

- 1日 (月) 夏季水泳教室 B③
 ○4日(木)～17日(水)閉庁期間
 ○22日(月) 夏季水泳教室 B④
 ○23日(火) 夏季水泳教室 A④
 ○24日(水) 夏季水泳教室 B⑤
 ○25日(木) 夏季水泳教室 A⑤
 ○26日(金) 夏季水泳教室 B⑥
 夏休み港南クラブ修了
 ○27日(土) クリーン作戦
 ○29日(月) 夏季水泳教室 A⑥

☆始業式・引き渡し訓練について☆

9月1日(木)【土曜時程】始業式(8:30～)、
 幼小中合同引き渡し訓練(10:15～)
 ※10:15～11:10の間に引き取りに来ていただきます
 ようお願いいたします。(詳細は後日ご連絡いたします。)

19日(金)～20日(土)
 夏季学園Ⅰ期(5年)
 (5-2・3)
 20日(土)～21日(日)
 夏季学園Ⅱ期(5年)
 (5-4・6)
 21日(日)～22日(月)
 夏季学園Ⅲ期(5年)
 (5-1・5)

副校長より

六月は食育月間の取組として「もぐもぐチャレンジ」と称して自分が食べると決めた量の給食は食べるようにしました。今年度より栄養士が変わり、港南小の子供たちの好き嫌いをよく見てくれていました。

「やはり、野菜はたくさん残りますね」毎日報告される野菜や魚の残菜率は、ほぼ毎回20%を超えています。作ったものの1/5が廃棄されているという事です。栄養士は、残されることの多いゆで野菜を、子供に根強い人気のカレー(残菜率19%)風味にして提供しました。小さな工夫かもしれませんが、この積み重ねで、子供たちが一口でも多く野菜を食べてく

食育月間を終えて

食育月間を終えて、食育のことを願います。自分の体を大事にする意味でもバランスの取れた食事をしてもらいたいと思います。

また、味覚が完成するのは十五歳くらいまでと言われています。たくさん味の味に触れて、味覚を豊かにし、将来、美味しいものを美味しく感じられるようになってもらいたいと思います。出されたものは取り敢えず口に運んでみませんか。そこから新しい世界が広がるかもしれませんよ。食わず嫌いはもったいない。

(副校長 平 裕子
 久道 泰司)

7月の行事予定

1日	金	基礎なし・4時間授業
2日	土	フレンドリータイム・わくわく教室保護者会
3日	日	
4日	月	げんきアップタイム・委員会
5日	火	基礎なし・5時間授業・個人面談
6日	水	基礎なし・4時間授業・避難訓練
7日	木	基礎なし・5時間授業・個人面談 移動教室開始(わかば)
8日	金	移動教室事前検診(6年)・クラブ
9日	土	移動教室終了(わかば)
10日	日	移動教室開始(6-1・2)
11日	月	基礎なし・5時間授業・個人面談 わくわく教室面談期間開始
12日	火	基礎なし・5時間授業・個人面談 移動教室終了(6-1・2) 移動教室開始(6-3・4)
13日	水	振替休日(6-1・2)
14日	木	基礎なし・5時間授業・個人面談 移動教室終了(6-3・4) 移動教室開始(6-5・6)
15日	金	基礎なし・5時間授業・個人面談 6-3・4(午前授業・給食あり)
16日	土	移動教室終了(6-5・6)
17日	日	
18日	月	海の日
19日	火	基礎なし・4時間授業・個人面談 給食終了・振替休日(6-5・6)
20日	水	終業式・土曜時程
21日	木	夏季休業開始・個人面談予備日 夏休み港南クラブ開始
22日	金	個人面談予備日
23日	土	クリーン作戦
24日	日	
25日	月	夏季水泳教室 A①
26日	火	夏季水泳教室 B①
27日	水	夏季水泳教室 A②
28日	木	夏季水泳教室 B②
29日	金	夏季水泳教室 A③
30日	土	遊び場開放

港南小学校 Twitter

港南小学校の日々の様子をTwitterにアップしています。

ぜひご覧ください。

<港南小学校 アカウント>

@konaneschool



	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	35	232	210	210	221	221	233	1362

(6月29日現在)

スポーツフェスタ

えがおとどけ！キラキラ☆スマイル

一年生は表現で「えがおとどけ！キラキラ☆スマイル」を踊りました。初めての学年行事で、「みんなの心を一つにしよう」を合言葉に練習を行いました。

隊形移動の練習では、最初はどこに行けばいいのかわからず、迷子になってしまう児童もいました。ですが、練習を重ねる中で「こっちだよ！」「ここに入っていよいよ！」と、児童同士が伝え合うことで、隊形移動が上手になってきました。

当日は、ポンポンを持ち、一年生らしいキラキラした笑顔で一生懸命踊ることができました。振り付けを揃えて、みんなの心を一つにして踊ることができました。みんなが頑張った経験を、今後の学校生活でも活かしてほしいと思います。

(一年七組 出牛 柁輝)

Raise the FLAGS

四年生は旗を使って表現を行いました。学年目標の4 for every bodyと関連付けて、ただ旗を振るだけでなく、みんなのために動きと音を揃えて心を一つにできるようにすることを目指して行いました。

お手本の動画を参考にして、各学級で練習したりお休みの日に練習したりするなど、一生懸命練習してきました。

晴れた空の下、各クラスカラーの旗が振り挙げられる様子や、音がそろっている場面はとても素敵でした。

全員で動きと音を揃えて心を一つにする経験を今後の学校生活に生かして充実した日々を過ごして行っていきたいと思います。

(四年六組 飯山 稜太)

Mea!Mea!みんなでパワーゼンかい

二年生は表現で「Mea!」を踊りました。メラメラと燃える炎のように、二年生らしく明るく元気に練習に取り組みました。短い練習期間の中でも、休み時間にタブレットを見て積極的に踊ったり、友達と協力してお互いにより動きを見合ったりしながら楽しく練習しました。また、一人ひとりオリジナルの「Mea!バンド」を作成し、本番に向けて一生懸命準備しました。

本番では、そんなMea!バンドを装着して全校児童や保護者の皆様に、笑顔で全力な踊りを披露することができました。今回のスポーツフェスタでの経験を生かして、友達と助け合い仲良く学校生活を送ってほしいと思います。

(二年一組 徳永 和希)

港南ソーランニヨニ

南中ソーランに挑戦した五年生。中野先生の手本動画を見て、担任に合格がもらえるまで練習を繰り返し、合格したら友達に教えました。また、一致団結して表現できるようにTシャツを作りました。デザインを子供たちから募集して、その中から決めました。Tシャツが手元に届くとより一層気持ちが高まりました。そして、大漁を表すための大漁旗も各学級の有志が朝早く登校して作りしました。旗には、学級の思いを表す漢字を書きました。

高学年になってから初めての行事で学年目標の「助け合い・関わり合い・認め合い」を意識して、堂々と表現できました。さらに「たかみ」を目指して学校生活を送っていきます。

(五年三組 酒井 百代)

ロック八木節

三年生は民舞に挑戦し、「ロック八木節」を踊りました。タブレットを活用して動き毎に細分化したお手本の動画を見ることで、自分のペースで練習したり、グループで仲良く教え合いながら練習したりするなど、一生懸命に取り組み姿が見られました。

本番では、練習の成果を発揮し、笑顔で楽しく大きく踊ることを意識して全校児童や保護者の皆様に披露することができました。今回のスポーツフェスタを通して、気持ちの一つにして何かを成し遂げる達成感を感じた児童が多かったです。この経験をこれからの学校生活にも生かし、一丸となって進んでいきます。

(三年六組 風見 友哉)

リスペクト

地域の方々や保護者の方々、港南小学校に関わる教職員全員が期待を寄せる、六年生の組体操。児童は、自分たちなりに「六年生として理想の姿」を真剣に考え、組体操のテーマを【リスペクト】としました。

五人技や最後の学年技は、児童にとってやや負荷の高い演目を構成しました。何度も練習する姿、周囲と合わせようとする姿。体でリズムを取る姿、小さな声で仲間とタイミングを合わせている姿、そのどれもに、練習の時から感動させられました。

本番に頂いた拍手は、児童の成長につながり励みになりました。今後の六年生の成長に大いに期待していただけだと思います。

(六年一組 中丸 喬介)

サッカークラブ

クラブ紹介

昔遊び

昔遊びクラブは、六年生三名、五年生六名、四年生七名、合計十六名で活動しています。四月、五月は、お手玉やけん玉、おはじき、だるま落とし、あやとり、いろはかるた、めんこ等から自分が挑戦したい昔遊びを選んで取り組みました。「すごい。けん玉が上手!」「教えてほしい。」「だるま落としが上手!」「どうやったの?」と、得意な技を披露したり教え合ったりして楽しみました。六月は、グループを作っておはじき大会を開きました。皆で仲よく楽しむ姿が微笑ましかったです。

今後は、けん玉大会やめんこ大会、百人一首大会などを計画しています。四、五、六年生が関わり合って楽しく活動していきたいです。

(昔遊びクラブ担当 實松里津子)

サッカークラブは、今年度三十五名で発足しました。サッカーを習っていて得意な子、習っていないけれど興味がある子、そんなサッカーが大好きな児童が集まりました。第一回のクラブでは、「みんなが楽しいサッカー」をするための話し合いをしました。学年も、サッカー経験もバラバラなメンバーが、一年後に「サッカークラブは最高に楽しかったな」と思ってもらえるよう、クラブ長と相談しながら活動内容をサポートしていきたいと思っています。

残念ながら、五月の活動は雨が降ってしまい、まだみんな十分にサッカーができていません。みんなが笑顔でボールを追いかけている姿を見ることが楽しみです。

(サッカークラブ担当 徳永 和希)

陸上クラブ



陸上クラブでは、四年生十三名、五年生十三名、六年生六名の計三十二名で活動しています。クラブ長や六年生を中心に子供たちがどのような活動を行いたいのか話し合っ活動内容を計画し、走の運動や跳の運動などを月ごとに予定しています。

陸上クラブでは、自分自身の記録を伸ばすことだけでなく、子供たちだけで協力して楽しみながら活動に取り組んでいくことも目的としています。

陸上クラブで学ぶ自主性や協調性、異学年の友達と協力する大切さを普段の生活でも生かすことができるよう指導してまいります。

(陸上クラブ担当 小池 裕也)

農業クラブ

農業クラブでは、「野菜を育てたい」という思いをもった二十五名の子供たちと共に活動をスタートさせました。最初の活動では、それぞれが育てたい野菜を挙げ、一学期はトマト・ピーマン・ナスなどの夏野菜を育てることに決まりました。五月はクラブ活動日が雨だったため、屋上農園に行くことはできませんでした。そのため、休み時間を活用して雑草抜きを行い、六月のクラブの時間に苗を植えました。

野菜を育てるために、月に一度のクラブ活動日だけでは上手に育てることはできません。そのため、子供たちと水やり当番を決めました。主体的に活動に取り組めるよう、工夫して活動を進めていきます。

(農業クラブ担当 加藤 寛之)

音楽クラブ

音楽クラブでは、四年生三名、五年生四名、六年生五名の計十二名で活動しています。今年度は、音楽室にある楽器を使って合奏をします。どんな曲を演奏したのか話し合い、BTSの「ダイナマイト」に決まりました。早速、担当する楽器を決め、練習を始めています。金管楽器をやってみたいという声もあるので、コロナが落ち着いたら、体験したいと思っています。

(音楽クラブ担当 井上 加奈子)



わくわく教室紹介

わくわく教室では、子供たちが各々の学級で自信をもって生活できるように、「自立活動」の指導を行っています。自立活動とは、学習上や生活上で苦手なことと上手に付き合えるようにするための活動です。例えば、人とのやり取りの中で、場面や相手に応じた言葉遣いや表現方法を身に付けること、自分に合った感情のコントロールができるようになることです。

わくわく教室は学校公開日に「教室公開」を行ない具体的な指導の様子を紹介しています。お子様の様子が気になることがありましたら、お気軽にお問合せください。

(わくわく教室 倉山 千春)